

応募者一覧

「絵の部門」

赤松 和樹	神奈川県立神奈川工業高等学校	3年
石川 葵	宮城県工業高等学校	3年
石井 友尋	兵庫県立兵庫工業高等学校	3年
井筒 幸大	兵庫県立兵庫工業高等学校	3年
遠藤 駿	静岡県立科学技術高等学校	2年
遠藤 雅治	神奈川県立神奈川工業高等学校	3年
大石 理奈	静岡県立科学技術高等学校	2年
太田 侑也	東京都立総合工科高等学校	3年
川上 大雅	大分県立大分工業高等学校	1年
河野 園子	大分県立日田林工高等学校	2年
北岡 璃花子	富山県立富山工業高等学校	2年
黒澤 恭平	埼玉県立熊谷工業高等学校	2年
額 一真	国立豊田工業高等専門学校	3年
坂林 優梨	金沢市立工業高等学校	3年
鈴木 章吾	静岡県立浜松工業高等学校	3年
相馬 孝世	神奈川県立大船高等学校	2年
高井良 未波	佐賀県立有田工業高等学校	3年
高橋 悠太	埼玉県立熊谷工業高等学校	3年
濱田 聖奈	大分県立鶴崎工業高等学校	3年
前迫 駿翔	呉市立呉高等学校	3年
松本 孝貴	愛媛県立南宇和高等学校	3年
山崎 結衣	静岡県立科学技術高等学校	2年

「文の部門」

泉 杏佳	静岡県立科学技術高等学校	1年
岩下 浩章	東京都立科学技術高等学校	3年
勝井 大志	京都市立伏見工業高等学校	3年
北浦 正義	京都市立伏見工業高等学校	3年
北代 遊楽	香川県立高松工芸高等学校	3年
熊井 一乃	京都市立伏見工業高等学校	3年
小嶋 清隆	京都市立伏見工業高等学校	3年
小林 将隆	東京都立工芸高等学校	2年
坂本 葉	京都市立伏見工業高等学校	3年
杉山 拓哉	静岡県立科学技術高等学校	1年
相馬 孝世	神奈川県立大船高等学校	2年
中家 萌瑛	大分県立大分工業高等学校	1年
花里 颯太	京都市立伏見工業高等学校	3年
平山 真奏	東京都立科学技術高等学校	3年
星野 勇輝	私立灘高等学校	3年
吉井 絢都	京都市立伏見工業高等学校	3年
和田 誠悠	静岡県立科学技術高等学校	1年

審査委員

「絵の部門」

審査委員長

澤岡 清秀 (建築家/本学建築デザイン学科教授)

審査員

飯島 直樹 (建築家/本学建築デザイン学科教授)

鈴木 敏彦 (建築家/本学建築学科教授)

谷口 宗彦 (建築家/本学建築デザイン学科教授)

富永 祥子 (建築家/本学建築デザイン学科准教授)

西森 陸雄 (建築家/本学建築デザイン学科教授)

藤木 隆明 (建築家/本学建築デザイン学科教授)

「文の部門」

審査委員長

藤森 照信 (建築史/本学建築デザイン学科教授)

審査員

篠沢 健太 (ランドスケープ/本学まちづくり学科准教授)

下田 明宏 (ランドスケープ/本学まちづくり学科教授)

中島 裕輔 (環境工学/本学まちづくり学科准教授)

星 卓志 (都市計画/本学まちづくり学科教授)

吉田 司雄 (文学/本学基礎・教養教育部門教授)

(五十音順)

第6回 高校生の建築フレッシュ・アイデア・コンペ

■課題： 安らぎの空間、くつろぎの空間—21世紀の家族のための家、まち、都市—

今、高校生活を送っているあなたたちは、たぶん大人と変わらないたくさんの方のストレスにさらされているでしょう。それをゲームなどで発散させてしまうのではなく、「空間」で解消するとしたら？

「家」は本来、誰にとっても最も安らぐ空間である…ように思えます。しかし同時に家は、家族との共有空間でもあります。「誰と、何を、どのくらいシェアする空間が魅力的なのか？」高校生のあなたたちは、ご両親や兄弟と違う考え方を持っているはず。また今日、「家族」のあり方もさまざまです。兄弟姉妹がいない一人っ子や子どもを持たない夫婦も家族。生涯独身の人も独り住まい老人も特殊な家族だと考えられます。そういう家族にとって安らぎやくつろぎとはなんなのでしょうか？

家に限らず、学校やまち、都市にさまざまな家族がさまざまに「安らぐ」「くつろぐ」空間を、高校生ならではの発想で提案してください。まだ独立した社会人ではない「リアルな高校生」であるあなたたちが、自分自身と「家族」との日常を、空間を介して考えた作品にしてください。かつて高校生であった大人たちが「へえ」と思うような、意外な発想に期待しています。

■募集内容

「絵の部門」「文の部門」の2部門について募集を行う。参加者は、この2部門から1部門を選んで参加、または両部門に参加してもよい。

■応募資格

- ・2013年4月現在、高等学校に在学中であること。
- ・個人による応募に限る。

■賞

最優秀賞	各部門1点	奨学金5万円
優秀賞	各部門2点	奨学金3万円
審査員特別賞	各部門数点	奨学金1万円

●表紙及びポスターデザイン：三浦翔太（工学院大学大学院工学研究科 建築学専攻 修士2年）

●詳細につきましては、工学院大学建築系学科HPよりご確認ください。

<http://www.kouarc.jp/>

FRESH IDEA COMPETITION 2013

安らぎの空間
くつろぎの空間
21世紀の家族のための家、まち、都市

泡の集合体

ここに、とある湖の畔
泡を弾いた謎の存在
大きい「あわ」一つ一つは様々な家族が住んでいる
小さい「あわ」一つ一つは様々な顔がある
様々な「あわ」が 모여서、様々な人の輪が重なって
家族が求めるくつろぎは、それぞれ違う
読む、食べる、寝る、泳ぐに、
それぞれがくつろげる場所が
それぞれの家族をつくる
今日もまた、様々な家族の笑顔が溢れている
泡の集合体一つ一つの間に、川が流れている。
川から吹き込む涼しい風が、皆に、
心地よさを与えてくれる。
大きな泡の一つ一つは、くつろぎの間、
天窓から差し込むやさしい光は、
そこで活動する家族にエネルギーを与えてくれる。
家族が増えれば、求める安らぎも変わる。
皆が安らげる空間を作るため、家族一丸となって
安らげる空間を作っていく。
近い将来、湖は、家族の安らぎでいっぱいになる。

増築予定

増築予定

増築予定

西面立面図

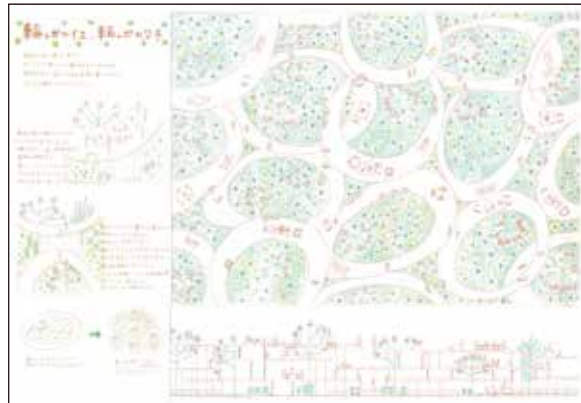
北面立面図



「絵の部門」 審査員特別賞・澤岡清秀賞

「輪っかのイエ、輪っかのマチ」

北岡璃花子 (富山県立富山工業高等学校 2年)



「絵の部門」 審査員特別賞・飯島直樹賞

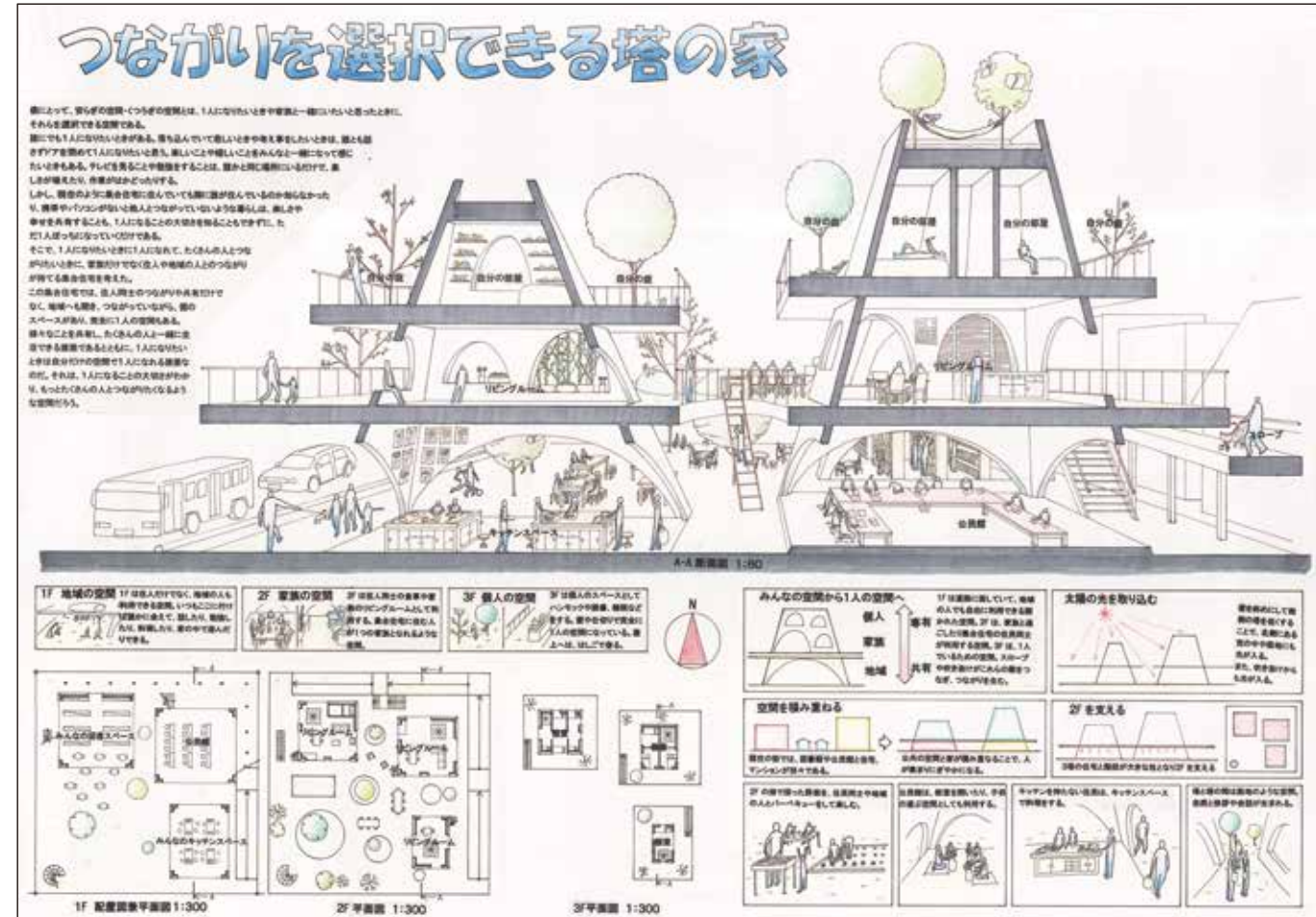
「湯ったりHouse」

山崎結衣 (静岡県立科学技術高等学校 2年)



「絵の部門」 優秀賞 「つながりを選択できる塔の家」

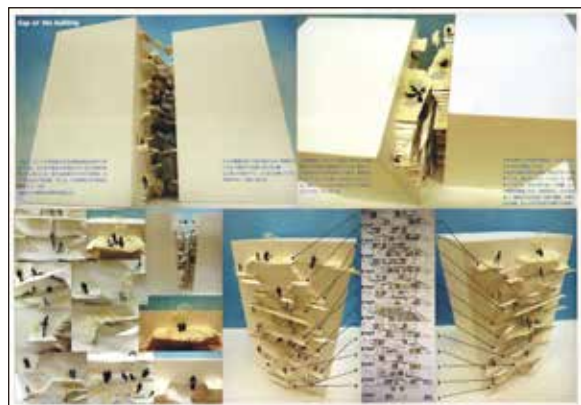
遠藤駿 (静岡県立科学技術高等学校 2年)



「絵の部門」 審査員特別賞・鈴木敏彦賞

「Gap of the building」

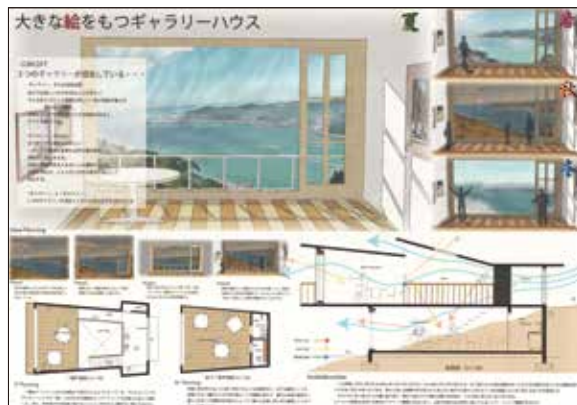
黒澤恭平 (埼玉県立熊谷工業高等学校 2年)



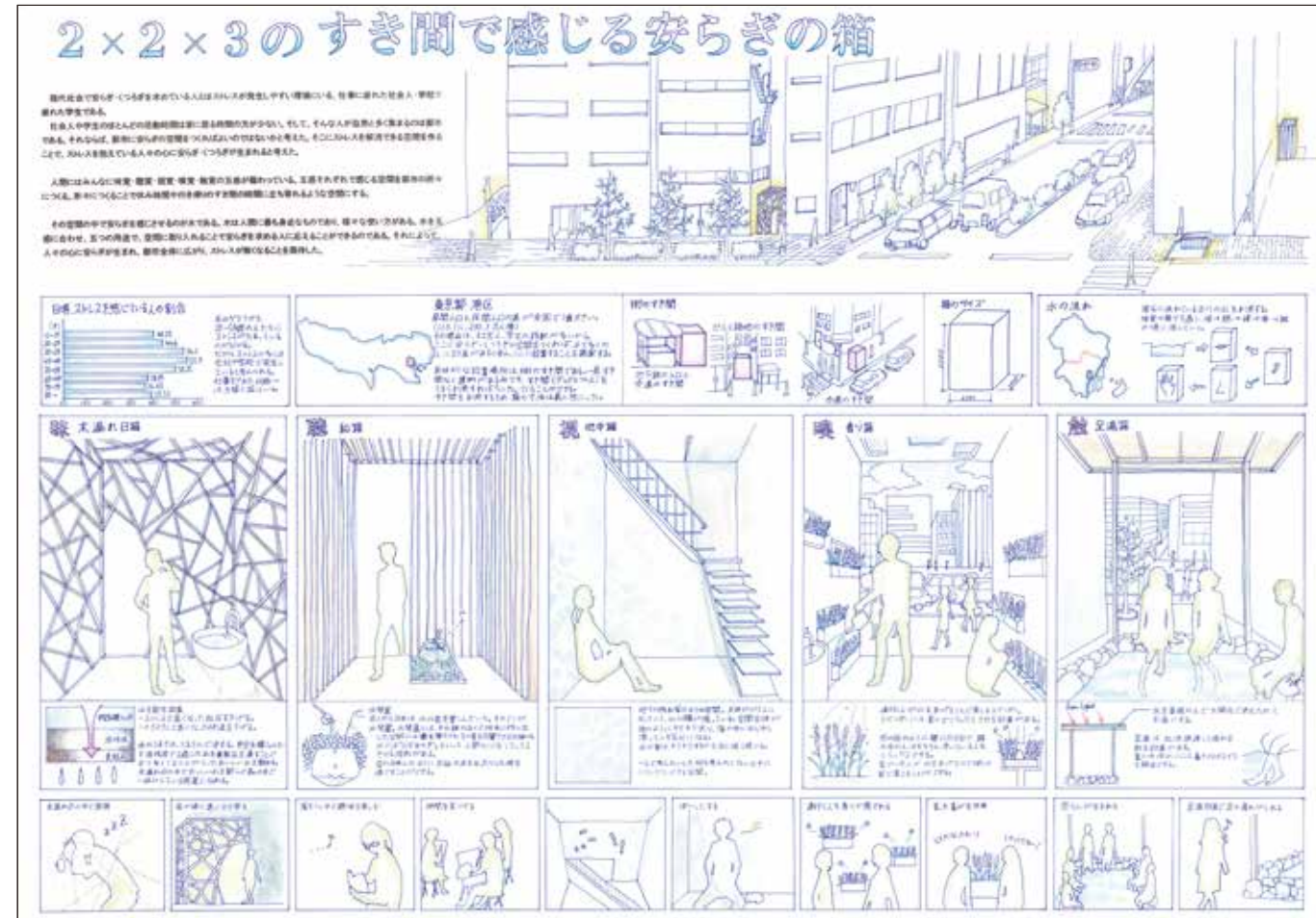
「絵の部門」 審査員特別賞・谷口宗彦賞

「大きな絵をもつギャラリーハウス」

額瀬一真 (国立豊田工業高等専門学校 3年)



「絵の部門」 優秀賞 「2x2x3のすき間で感じる安らぎの箱」 大石理奈 (静岡県立科学技術高等学校 2年)



「絵の部門」 審査員特別賞・富永祥子賞

「話ができるみんなの図書館/もうひとつの家」

相馬孝世 (神奈川県立大船高等学校 2年)



「絵の部門」 審査員特別賞・西森陸雄賞

「つながり」

坂林優梨 (金沢市立工業高等学校 3年)



「絵の部門」 審査員特別賞・藤木隆明賞

「Huge」

松本孝貴 (愛媛県立南宇和高等学校 3年)



ごあいさつ

高校生の建築フレッシュ・アイデア・コンペも今年で6回目を迎えました。テーマである「安らぎの空間、くつろぎの空間」は家からまちへ幅広く展開できるものですが、現代に生きる我々にとって切実な問題でありながら、思い描くのは難しい課題であったかもしれません。それでも絵の部門には22点、文の部門には17点の力作の応募をいただきました。大学生と肩を並べるほどの提案から素朴でのびやかな案までさまざまな提案がありました。ここに入選作品をイメージとともに紹介させていただきます。今後とも引き続き、多くの皆さまの本コンペへの参加を期待しております。

